

キーワードは「アウトソーシング」

- 橋本市民病院の経営改革モデルを参考に -

★令和元年5月25日

令和元年度国保直診職員等研修会

5月25日、熊本県市町村自治会館において、熊本県国民健康保険診療施設協議会（以下、「熊本県国診協」という。）が主催する「令和元年度国保直診職員等研修会」が開催され、県内国民健康保険診療施設の医師、看護師、事務職や市町村職員など54名が参加した。

熊本県国診協では、国保直診施設職員等の知識の向上と地域包括医療の推進等に寄与することを目的に、毎年様々なテーマで研修会を開催している。

“令和”初となる今年度は“病院の経営再建を請け負うプロの事務局長”として活躍されている岡山市立市民病院事務部長の豊岡宏氏が「橋本市民病院の経営改革～自治体病院の新しい経営改革モデル～」と題し、講演した。

橋本市民病院の経営改革の特徴は“アウトソーシング”であり、その多くを「その道のプロ」の委託会社と共に経営改革を行った結果、医療の質及び患者サービス向上のため、多額の投資を行ったにもかかわらず黒字化できたというものであった。



豊岡 宏 氏

豊岡氏からは、「今回の経営改革は難しいことをしたわけではなく、心の底から経営改革をしようと思えたから成功できた。様々な業務において、誰にも何時かは来るであろうその時に備えて実力を蓄えておく必要がある。そして、その時が来た時、やるべき決断・実行をやって結果を出すだけ」と力強い発言もあり、参加者は、最後まで豊岡氏の発言に惹きつけられていた。

参加者からは、「病院の現状把握や、アウトソーシングの必要性を再確認しました」、「何か行動を起こすためには下準備が必要であり、データを出して可視化することの大切さを学びました」などの感想が聞かれた。



研修会の様子

【問合せ先】

保健事業支援課 事業振興係

TEL : 096-365-0976

